

平成 22 年度研究交流計画概要

8 - 1 共同研究

共同研究として取り組んでいる「発達障害児の親支援のための調査」(3 ヶ国国際比較研究)の、日本側独自の発表を、2010 年 5 月 22 日~23 日に開催される日本保育学会第 63 回大会(松山東雲女子大学・松山東雲短期大学)においておこなう予定である。また、本調査の結果を共有し(2010 年 5 月 31 日~6 月 3 日の第 5 回セミナーで中間報告を予定)、3 ヶ国間の比較研究をすすめる(2010 年 11 月 3 日~11 月 6 日の第 6 回セミナーで報告を予定)。

また、今年度は最終年度になるので報告書を作成する(2011 年 3 月予定)。

あわせて、アンケート調査に加え聞き取り調査などによって質的研究をめざしている日本の手法の妥当性を検討し、他の 2 ヶ国での調査の可能性をめざす。なお、研究成果の発表については各国の国内学会および関連の国際学会での発表を計画する。

8 - 2 セミナー

今年度は 3 年目(最終年度)にあたるが、中国で 2 回のセミナー(第 5 回、第 6 回)を開催する。

第 5 回セミナーは復旦大学(中国・上海市)での開催を予定している。セミナーは、この間取り組んできた国際共同研究(本調査)の中間報告と上海市の実情の研究交流をおこなう。第 6 回セミナーは南京師範大学(中国・南京市)での開催を予定している。セミナーでは、中国・南京市での発達障害児研究の交流とこの間取り組んできた国際共同研究の最終報告の 2 つを中心にすすめる。また最終報告書の作成および調査結果の公表(国内学会・国際学会)について協議をすすめる。

8 - 3 研究者交流(共同研究、セミナー以外の交流)

2010 年 5 月 20 日~22 日に開催される IMFAR 2010(第 9 回国際自閉症会議・アメリカ・フィラデルフィア)に参加し、欧米での最新の発達障害児研究の動向調査と参加各国の研究者との研究交流をはかる。アメリカ、オーストラリアの研究者とは来年度開催予定の「アジア・パシフィック自閉症会議 2011」に関する情報交換を行なう。本事業は今年度で終了するが、次年度ないしは 2 年後を目処に IMFAR および「アジア・パシフィック自閉症会議 2011」など関係会議での本事業の成果の公表をめざす。

また、セミナーおよび国際共同研究および成果の公表の打ち合わせのために中国、ベトナム、日本を相互に訪問し、研究交流をすすめる。日程については、国内・国際学会の機会を積極的に活用して相互訪問の日程を決定する(2010 年 9 月、12 月を予定)。